

## 連携先

- ① 東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学  
専攻自然環境循環学講座
- ② 横浜国立大学大学院環境情報学府人工環境専攻



倉持秀敏

国立環境研究所の所属：資源循環領域  
資源循環基盤技術研究室

専門分野：リサイクル工学、化学工学、  
環境化学



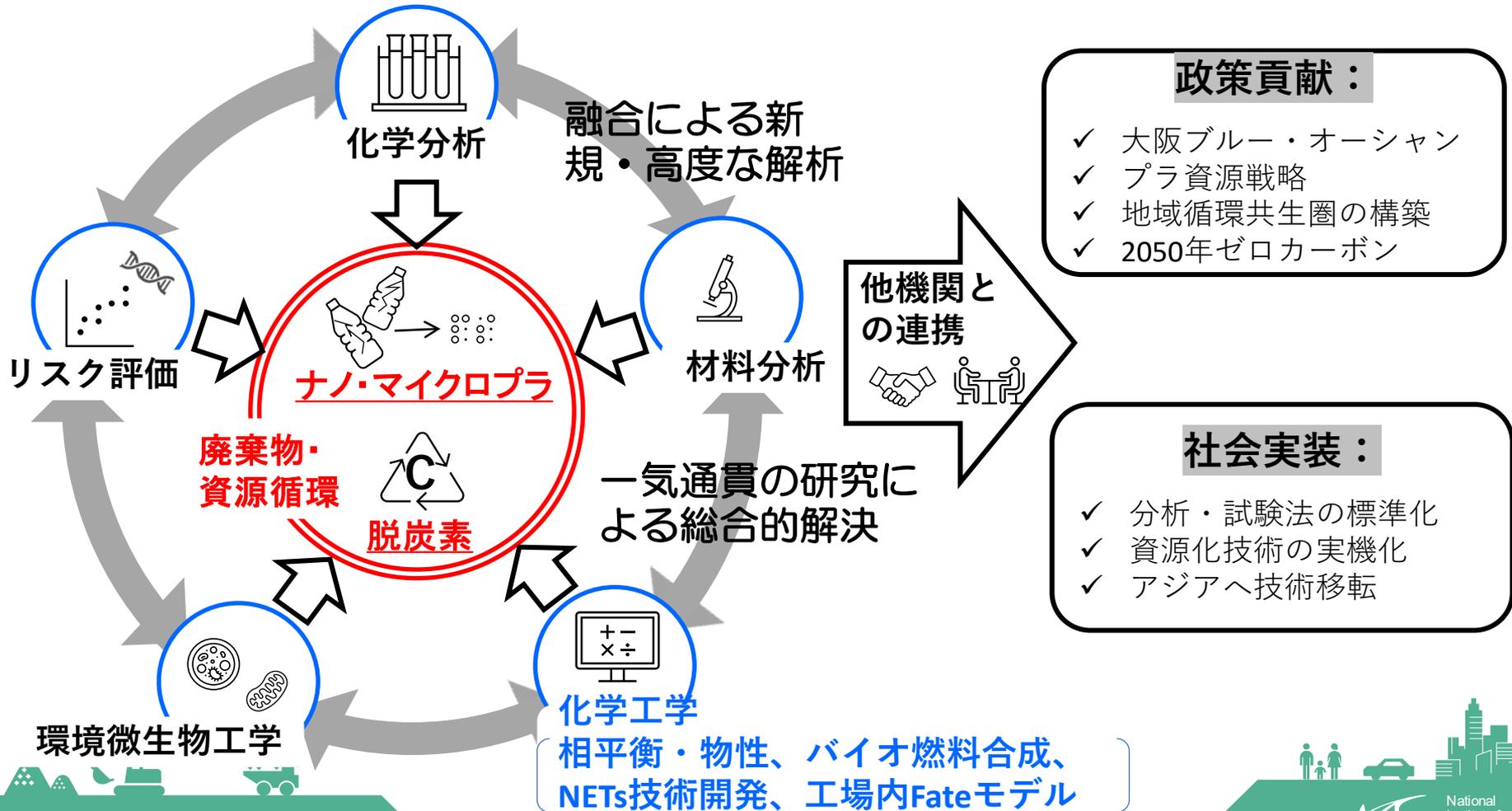
# 資源循環基盤技術研究室

研究系職員:11名(特研6名), 高度技能専門員2名, 実験AS:3名, 事務AS:2名, 派遣職員:2名



# 資源循環基盤技術研究室：持続可能な資源循環を支える先導的基盤技術の開発

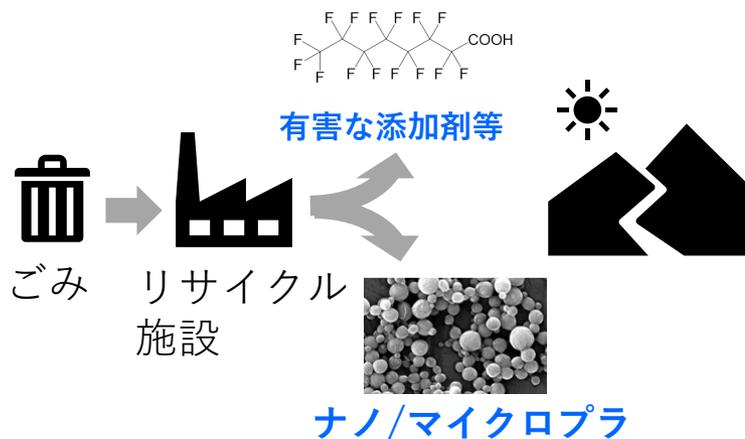
**ミッション：** 脱炭素化や安全確保に配慮した持続可能な資源循環及び地域循環共生圏の中核要素技術に関する先導的基盤技術を、工学、理学の各種手法を統合的に用いて研究・開発する。



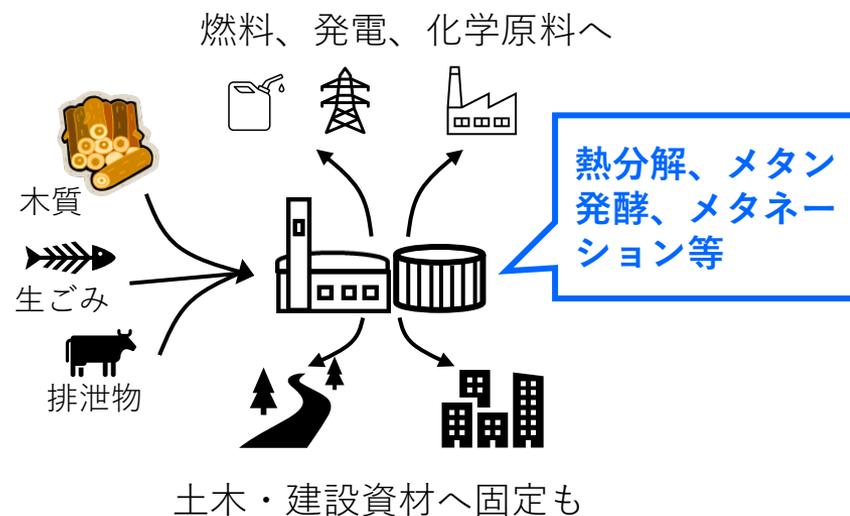
# 研究テーマ案(資源循環過程における環境汚染物質の排出制御)

対象物質：ナノ/マイクロプラ、残留性有機汚染物質 (POPs)、炭素 (CO<sub>2</sub>, バイオマス)

## ①②排出抑制のための実態把握 (分析法開発を含む)



## ③排出抑制のための技術開発



- ① リサイクル施設からのナノ/マイクロプラの排出実態把握
- ② リサイクル施設からのフッ素系添加剤等の排出実態把握
- ③ 二酸化炭素回収利用貯蔵 (CCUS) 付きリサイクル技術の開発

# 最後に一言

- 環境行政に近いところでその流れを感じつつ、国の施策に貢献することを意識しながら、楽しく、かつ野心的な（オリジナリティのある）研究をしましょう。
- ラボワークだけでなく、施設等の現場へ行き、広い視点でトレードオフなどの新たな課題を見つけましょう。

